

サウーデ教会女性部会報

2015年 12月

№ 283



巻頭言

丹羽 昭男 師

「救いの達成に務める」

ピリピ人への手紙 2章 12節

「1」序論

私たちの人生の中で最大の出来事は、キリストを信じることによつて救いを経験し、クリスチャンとされたことである。

そして、大切なことは、その与えられた信仰・救いを持ち続けることである。もちろん、それは主がしてくださることであるが、私たちがの方でもすべきことがある。

もくじ

ページ

● 巻頭言 「救いの達成に務める」	丹羽昭男師	②
● 救いのあかし	小原知子	⑤
● あかし	畠中美恵子	⑥
● ちよつと立ちばなし	石田喜子	⑧
● みことばの小箱	小野田幸子	⑨
● キリストかおる唱歌	崎山美知子・山内敏子	⑩
● 俳句／短歌	ながたにつるこ やまぐちちかこ 長谷鶴子・山口千里・吉加江紀子	⑪
● 詩	加納信子	⑫
● 個人消息／お知らせ	はせがわみよえ 長谷川美代枝	⑬
	崎山美知子	⑬
		⑭
		⑮
		⑯

「2」神の臨在をいつも覚えること

第一の事は、神が共にいてくださるといふことをいつも覚えることである。確かに、神の臨在を強く覚える時もあるし、また、そうでない時もある。では、どんな時に神の臨在が弱くなるのだろうか。

① すべてが順調な時

お金もある。仕事もうまくいっている。問題もない。そうなると神のことを覚えなくてもやっつけていけるようになる。

② 悲しみや問題が大きすぎる時

そのことばかりが大きく見えて、神が見えなくなってしまう。

③ 忙しすぎる時

やることがいっぱいある。行くところがいっぱいある。そうすると、神のことを忘れやすい。神は、どんな時にも私たちのすぐ近くにおられる。そのことをしっかりと覚えよう。

[3] 神との交わりの時間をもつ

① 交わるものに似る

第二のことは、聖い神との交わりの時をもつことである。誰でも交わる人に似るものである。悪い人と交わると悪くなる。立派な人と交わると立派になっていく。私たちが神と交わる時間を多くもとう。

② 祈りと御言を読む時をもとう

神と交わるとは、実際的には「神に祈り、御言を

① すぐに従う

御言が示された時は、すぐに従おう。明日、いや、一カ月後と時を延ばしてはいけない。

② 言い訳をしない

また、言い訳をしてはいけない。「自分には賜物がありません」「そんな事はできません」「行きたくはありません」と言っではいけない。神は、あなたにそのことができる信頼して、そのように示しておられるのである。

③ 全く従う

そして、全く従うことである。「半分だけ従う」「今日だけ従う」のではない。100パーセント

読む時」をもつことである。デボーションをもつことである。一日の中でどの時間でも良いが、朝が一番良い。とにかく、このことを毎日続けよう。

[4] 素直な従順

第三は、御言に素直に従うことである。毎日

読む聖書の御言や各集会のメッセージに教えられたり示されたりすることに従うことである。

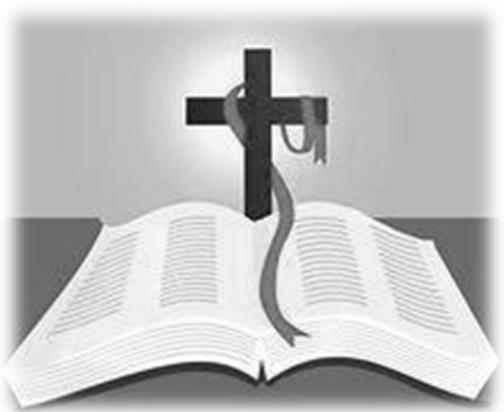
「こうしなさい」「捨てなさい」「行きなさい」と御言が与えられた時、従おう。



従う。ずっと従い続けることである。

[5] 結論

私たちがそのように励むとき、主イエス・キリストが、私たちの信仰を導き、成長させ、救いを達成してくださるのである。





信仰の道へ導かれた

きっかけから現在について

お話をうかがいました

おぼらともこあね
小原知子姉



受洗日 2006/8/6

*結婚を機に渡伯。クリスチャンホームの大家族

に何か魅かれるものを感じる

*長女出産後すぐ、義姉宅にて2週間ほど

お世話になる。そこで初めてデボーションを

経験し御言葉に慰められた。

*半年後、姑の教会生活に興味がわき

同伴することに

*会堂に入った瞬間、言い知れぬ温かさに

包まれた

*初めて聞く讚美歌に突然、涙があふれ出し、止まらなくなった

*礼拝後、本当の居場所を見つけたような安堵感と、醜い心にみずみずしい気持ち注がれたという嬉しさに満たされた

たという嬉しさに満たされた

*2ヶ月後、丹羽師に勧められ受洗

*洗礼式の間、涙と共に歓喜がこみ上げた

現在では、

*聖書からこの世に生を受けた意味と目的を

知り、平安と自信が与えられた

*奉仕を通し、賜物を生かしていただいている

子ども供たちとの充実した教会生活がある

祈りの課題

*日本に居る両親たちの救い

主は、「神のなさることは皆その時にかなって美

あかし



主よ深きしみいつく



子恵美中嶋

私は10月16日に胆石の手術をしました。手術前には血液が固まりにくい体質のせいで、いろいろと面倒なことが起こりました。手術自体は無事に終わりましたが、その後5時間半も麻酔から目覚めませんでした。それに呼吸もうまく出来ずに酸素吸入器を付けた外したりされ、主人は「死ぬんじゃないか」と、それはそれは心配したそうです。しかし、不思議なことに意識がもうろうとしていた中、突然パツと目が覚めて呼吸も出来るようになったのはびっくり感じました。それから病室に移され、出された食事

しい」という御言葉をもつて、初めてその存在を現してくださった。そして、絶え難い孤独や、抱えきれない罪悪感、憎しみなどの大きな罪の淵から、愛をもつて引き上げてくださった。イエス様には「おまえの罪はすでにこの私と一緒に十字架につけた。だからもうよい」と、その釘跡残る両手で包まれた。心の底から「救われた」と叫んだあの瞬間を今も忘れることは出来ません。

日々、些細な出来事に心を取り乱し、想像を超える苦難に何度も打ちのめされながらも、必死に主にすがりしてきました。「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」の御言葉を慰めとし、その必要のすべてを満たしていただいています。

今も「主の素晴らしいご計画の中にある」と確信し、主に伴われ歩む明日を待ち望んでいます。

全部平らげてしまうほど急に元気になった私を見
て看護婦さんたちはビックリしていました。そして
退院し、耐子さんに報告の電話をした際、夫の
恙三さんが16日に召されたことを聞きました。と
つさにその不思議な体験が思い出され、「主は私の
災いを恙三さんを通して持っていてくれたのかな」と
感じました。すると、これまでの恙三さんとの交わ
りの日々とも重なって「ありがと」と涙がポロポ
ロ出てきました。このことがあってから、私の気持ち
(信仰)がはつきりしました。とても嬉しく主に
感謝しました。これまでも、それなりに感じてはい
たけれど、忙しすぎて向き合う余裕がなかったのか
も知れませんが、今は体調を崩したことを機に耐子さ
んのところでの仕事を辞めてから、時間が持てるよう
になったので聖書を読み始めました。でも難しく
なかなか進みません。なので讃美歌を歌っています。

すると気持ちが落ち着いてとても楽しくなります。
心臓が弱い私は、心配事や問題があるとドキドキ
と動機が激しくなり苦しくなります。でも賛美を歌
うと心が穏やかになつて平常心になれるのです。
また、以前は畏れ多い気がして神様に祈れませんが
でしたが、美香先生に「友達に話すように」と教えて
いただいたから祈れるようになりました。神様を思
い声に出して祈るとき、いつも身近に感じます。そ
して、神様にお任せしていれば安心なのだと思ひ
に満たされます。
耐子さんに付き添いながら自然と礼拝へと導か
れ、洗礼を受けて丸一年が経ちました。先生方や
周囲の方に祈り支えていただき、何より主に守ら
れ今があることを感謝しています。それ以前を振り
返ってみても、どんな時も神様は私のことをずつ
と覚えて導いてくださっていたことを改めて

実感し感激しています。

このような恵みの中で最近では、今までとは少し
違う気持ちで周囲の方々に寄り添っている気がしま
す。これからは、そんな皆さんに感謝の気持ちをもち
つて生活させていただけたらと願っています。そし
て、まだクリスマスチャンではない主人も今では心安
く礼拝に送り出してくれていますので、少しづつ
奉仕のお手伝いもさせてもらえればと思っています。

新聖歌 209 いつくしみ深き

いつくしみ深き 友なるイエスは
罪咎 憂いを 取り去り給う
心の嘆きを 包まず述べて
などかは下さぬ 負える重荷を



主 生かしてくださる



喜 子
石 田

お証しいたします。
今年、90歳の誕生日を迎え
ました。今日まで生かしてくださ
った神様に感謝いたします。
私は、2歳の時にかまくら丸
でブラジルに着きました。その船
の中で2歳の誕生日を迎えま

した。船長さんがお祝いに、乗船者681名全
員に美味しいご馳走をしてくださったそうです。私
の母は喜んで、「あなたはとても幸せ者」と言つて
くれました。その後も病気もしないで元気に育つた
そうです。

月日の経つのは早いものです。90歳になった今も
神様は私に健康をお与えくださっています。
尊い神様に感謝いたします。

ちよつと

立ちばなし!



教会ではいつもイエス様の

ハナシでいっぱい

あちの「ちよつと」から聞かされて

ステキなお証しをお届けします

小野田幸子姉

最近さいきんはよくころ転ころんで子供こどもたちに心配しんぱいをかけてしま
います。昨年さくねんまつ末まつは頭あたまを4針縫はりぬうケガをしました。で
も、骨ほねも頭あたまの中なかも異常いじようはなく、神様かみさまに守まもられたと
喜よろこんでいました。子供こどもたちからは今いままで以上いじように何なに
もしないで静しずかに居いるようにと、いつも注意ちゆういを受け
ます。そうしたいと思おもうのですが、ついつい色々いろいろうと気
になつて手てや体からだを動うごかしてしまいます。十分じふぶんに気
を付つけているつもりでしたが、先月せんげつもまた自宅じたくで転ころ



こぼこぼの みことばの小箱

年とし初はじめにいたみだこいたこ御言葉みことばは
何なんでしたか?

崎山美知子姉さきやまみちこあね 一いち。ペテロ5章7節／新共同訳
思おもい煩わづらいは、何なにもかも神かみにお任まかせしなさい。
神かみが、あなたあなたがたのこことを心こころにかけていて
くださるからです。

*今年ことしはケガをして大変たいへんな思おもいをしました。娘むすめの
家いえへ遊あそびに行いった時ときのことです。飼かい犬いぬが急きゆうに
私わたしの顔かおを目めがけて飛とびかかって来きました。私わたしは石いし
の床ゆかにパーンと叩たたきつけられました。とにかく痛いたく
て痛いたくて起おき上あがることことができませんでした。きつと
骨ほねが折おれているだおらうと思おもいながらも「神様かみさま、守まもつ

んでしまい、左半身ひだりはんしんを強つよく打うちました。その時とき、
同居どうきよする娘むすめは外出がいしゅつ中ちゆうでしたし、肋骨ろつこつでも折おれて
いたらどうしようかと焦あせりました。でも、なんとか起お
き上がれて、その後ごも病院びやういんにも行いかず済すんでいま
す。足あしが腫はれて、あざも真まつ黒くろになりましたが、
二週にしゆうかん間かんほどで痛いたみも取とれて今いまでは何なんともなく歩ある
るので安心あんしんしています。でも本ほん当とうにキリがないくら
いその都つど度つどその都つど度つど、神様かみさまに守まもられています。今いま
もつボンヤリしてしまつて情なさけなくなりませんが、それ
以上いじようにいつも神様かみさまが守まもつてくださっていることが
嬉うれしくて感謝かんしゃに絶たえません。



てください」と一心いつしんに祈いのつて病院びやういんへ行いきました。
レントゲン検査けんさの結果けつこ、どこの骨ほねもヒビすら入はいつてい
ませんでした。医いしや者が「あなたは97歳さいでしょ?」と
ビックリしていました。ただ、筋肉きんにくをひどく打うつてい
ましたので、二日ふつか間かんの入にゆういん院いんとしばらく静せい養ようの必要ひつよう
がありました。今いまでは何なんともなく生活せいかつしています。
このお言葉ことば通りそのままだなあと、一いっ層そう、御言葉みことばが身み
に沁しみています。今年ことし一年いちねんも無む事じに守まもられ感謝かんしゃでい
っぱいです。

山内敏子姉やまうちとしこあね 詩篇しへん145篇9節／新共同訳

主しゆはすべてのものものに恵めぐみを与あたえ、造つくられたすべて
のものを憐あわれんでくださいます。

*いただいた時とき、いろいろ思おもい当あたることことがありまし
たので、はつとして嬉うれしくなりました。一人ひとり一人ひとり違ちがう

御言葉というところで、より特別に感じてこの一年、大切に手元に置いてきました。今年も守っていただき感謝です。

ながたにつるこあね
長谷鶴子姉 一コリント1章10節／新共同訳
みな、勝手なことを言わず、仲たがいでせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。
*洗礼を受けて、ちようど一年が経ちました。それまでは20年間くらい仏教徒でしたが、お隣に住む山内敏子姉と、60年来の友人の石田姉に誘われて来しました。私はこの教会が大好きです。
主人を早くに亡くし、娘4人(下の子がまだ小学一年生だった)を、縫物などしながら育てました。大変でしたが、今ではひ孫まで与えられた嬉しい生活があります。御言葉通りこれからも仲良く暮らしていけたらと願っています。

し、清く正しいものではなく、自分の都合とお願いばかり祈ってないか確認しなさい』と、諭されたように深く反省させられました。また、—また見えない事実の確認—についても、『神様は私たちのために主のみ旨にかなう希望を下さるので、これから受けるどんな試練や忍耐も受け入れ、その愛を信じ従ってゆくように』と示され、この一年、常に心に留めて祈っていました。そうすることによって日常に心の余裕が生まれ、「焦らず怒らず」過ごすことが出来ました。悲しいことが起きたときにも、この御言葉を思い出し、神様を信じ委ねました。
こうして、たくさんの日々を平穩に過ごせたことを心から感謝いたしております。

やまぐちちさとあね
山口千里姉 <ブル12章14節／口語訳
すべての人と相和し、また、自らきよくなるように努めなさい。

*御言葉を有難く受け取りました。今年色々ありましたけれども、すべて神様にお任せしていたので安心した気持ちで過ごすことができました。子供たちも災難に見舞われましたが、お蔭さまで順調に回復しています。皆様にはたくさん祈っていただき、ありがとうございました。

よしあえのりこあね
吉加江紀子姉 <ブル11章1節／口語訳
信仰とは望んでいる事柄を確信し、また見ていない事実を確認することである。

*この御言葉をいただいた時、ちよつとハツとしました。—望んでいる事がらの確信—に、『自分が何時も神様に祈っていることが、神様の御心・御言葉に反

かのうのぶこあね
加納信子姉

—コリント15章58節／リビングバイブル
しっかりと立つて、動揺することなく、いつも主の働きに熱心に励みなさい。

*そのようにはなかなかいきませんでした。御言葉にあるように励まなくては、と過ごしてまいりました。その一つに今年から活花と受付を、そして、この度は司会の奉仕をと言われました。自分に務まるだろうか、と心配や緊張、不安で毎日一人で思い煩っていました。でも、「全てを神様にお委ねします」と祈りました。すると気持ちが和らいでいきました。これからは、どのような奉仕でも先生、姉妹方に教えていただいて励みたいと思います。



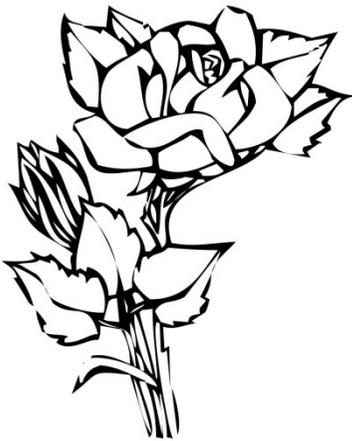
はせがわみよえあね
長谷川美代枝姉

詩編39篇19節／リビングバイブル

神さまはあらゆる苦しみから救いだし、不慮の事故から守ってください。

*主は守っていてくださり、さらに備えていてくださったことを感謝している。

変わらぬ主、私たちの忠実以上に主は約束を守り、導いてくださる。素晴らしい主。主の御許には休み場あり、慰めあり、憂いも悩みも消え去る。



キリストかおる唱歌

しょうか



『歌を忘れたカナリヤ』

作詞／西条 八十

歌を忘れたカナリアは 後ろの山に棄てましょか

いえいえ それはなりませぬ

歌を忘れたカナリアは 背戸の小藪に埋けましょか

いえいえ それはなりませぬ

歌を忘れたカナリアは 柳の鞭でぶちましょか

いえいえ それはかわいそう

歌を忘れたカナリアは 象牙の舟に銀の櫂

月夜の海に浮かべれば 忘れた歌を思い出す

背かがめ 雪降る町を 一人行く

あの人のため イエス生まれぬ

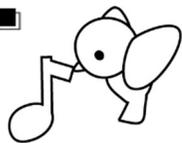
いと小さき者、最後の者、失われた者にこそ伴

い給う主イエス。このイエスの愛と恵みに気づく時、

人は声高らかに賛美するでしょう。

長谷川美代枝

俳句 短歌



崎山美知子姉

目を閉せばはるかアマゾンの虫の声

行きずりの吾にも笑まふ尻を乗せて

ベビーカー押す母に春の陽やさし

カナリヤは美しくうたいますね。暗く塞ぎこみがちになる人の心を元気づけ明るくします。私も祖母とよく歌いました。これは西条八十が幼い日に連れて行かれたクリスマス礼拝の思い出をもとに作られたそうです。クリスマスの夜、会堂の電燈は明るく灯もさされていたのですが、一つだけポツンと消えている電球を見付けました。それがみんなな樂しげにさえずっているのに、さえずるのを忘れたカナリアのように見え、さらには自分の姿と重なって、この歌が生まれることとなりました。

クリスマスは一つポツンと消えている電球みたいに感じる人にこそ恵みをもたらすものではないでしょうか。

瞬きの詩人 水野源三はうたいました。

詩

「私ではなく、キリストが」

作者不詳

私ではなく、キリストが
 あがめられ、愛され、高められますように。
 私ではなく、キリストが
 見られ、知られ、聞かれるように。
 私ではなく、キリストが
 すべての行動の中にいますように。
 私ではなく、キリストが
 すべての思いと言葉の中にいますように。
 私ではなく、キリストが
 謙遜で静かな働きの中にいますように。
 私ではなく、キリストが
 つつましく熱心な労苦の中にいますように。

キリスト、キリストだけです！
 見栄や、見せびらかせがあつてはいけない。
 キリスト、キリストだけが
 魂を集めてくださる方です。

キリスト、キリストだけが
 遠からず私のビジョンを満たされるでしょう。
 すばらしい栄光を私はすぐに見るでしょう。
 キリスト、キリストだけが
 私のすべての願いを満たすのです。
 キリスト、キリストだけが
 私のすべてとなられるのです。



個人消息

* 召天者

御守芳子姉 8月23日 (享年84歳)
 井上房子姉 8月24日 (享年83歳)

* 転出者

益本藤子姉は11月に、長女の八重子姉が
 おられる施設にご自身の希望により入所されま
 した。現在、八重子姉と共に穏やかに過ごされ
 ているそうです。

・ご用者 阿部ダニエル 師
 (フリーメンソジスト教団部長)

・司会 青山薫 師
 ・通訳 鈴木牧 師

* 世界祈祷日/連盟婦人部主催
 ・2016年3月4日・午後1時30分
 ・聖公会にて
 詳しくは追って週報やポスターにて
 お知らせいたします。

お知らせ

* 元旦礼拝/連盟主催

・2016年1月1日 (金曜日)
 ・午前10時
 ・ホーリネス教団リベルダデ教会にて
 Rua Pirapitingui 165 Liberdade



◇ <http://saudekyoukai.jimdo.com/> Facebook 礼拝メッセージ動画がご覧いただけます。

(おぼろ)